

## SST ひかり「デート DV について」の講習会を開催しました。

11 月 26 日に、SST ひかり(SST ひかりとは、児童アフターケアひかりで行っている SST です。)として、

「デート DV について」の講習会を開きました。参加者は、子ども 16 名、大人 5 名でした。

ここでは、講師の方に話していただいた内容について、簡単にご紹介します。

### ☆デート DV とは

まず、DV(ドメスティック・バイオレンス)とは「親密な関係にあるパートナーに対する暴力」のことであり、デート DV はその中でも「交際している相手に対する暴力」のことです。

暴力は、相手を怖がらせて自分の思うままにコントロールしようというもので、間違った付き合い方です。ではDVをする加害者はどういう気持ちなのでしょう。

### ☆こういう人と付き合っていませんか？

自分の思いを優先し、相手の気持ちを無視する。また、自分の思うとおりに従わせ、嫉妬から殴ったり、怒鳴ったりするなど、暴言や暴力がある。それを加害者は「好きなんだから当たり前だ」と思っています。では、それを受ける被害者はどういう気持ちなのでしょう。

### ☆被害者はこう思ってしまうがち

拒否して嫌われたくないから、我慢する。また、怖いから何も言えない。さらに私を必要としてくれる人だから我慢する。という気持ちを被害者は持ちます。加害者の束縛を愛情だと思い、「悪いのは自分だ」と思ってしまう。

しかし、本当の愛情は相手を大切な存在だと尊重することです。そして、悪いのは自分ではなく、暴力です。暴力の被害者に責任はありません。



### ☆デートDVで傷つけないために

- ・されたくないことはハッキリ伝える。
- ・相手の機嫌を取るような言動はしない
- ・多くの友人と交流する。
- ・心配な時は自分だけで悩まず、信頼できる大人に相談する。

これは、「自分を大切にすること」です。それが「お互いを大切にすること」に繋がります。誰かと付き合うときには、お互いの存在を尊重し、嫌なことは嫌と言合える無理をしない関係を築きましょう。そして、困ったときには周りの信頼できる大人や友達に相談してください。

